

先輩×Interview (先輩職員からのメッセージ)



「商店街のにぎわい創出と
地域経済の活性化」

【事務職】

環境産業部 産業振興課

佐藤 瑠香 (令和2年度採用)

秦野市政府
[中国語]
하디노 시청
[韓国語]
MUNICIPALIDAD DE HADANO
[スペイン語]
PREFEITURA DE HADANO
[ポルトガル語]

どんな仕事をしているの

産業振興課では、地域経済の活性化や商工業の振興を目的に、市内中小企業者への支援や商店街のにぎわい創出、創業支援、企業誘致など、幅広い業務を行っています。

私は現在、工業振興・労政担当として、円滑な資金調達を支援する融資制度や、補助金の交付といった中小企業等の支援に加え、多様な人材が活躍できるよう雇用を促進する業務を行っています。

中小企業を取り巻く環境は、人材不足や原材料価格の高騰など、日々変化しています。こうした変化に柔軟に対応できるよう、地域経済の状況把握に努めながら業務にあたっています。

仕事のやりがいは何ですか

私は、令和2年度に入庁し、4年間生活援護課に所属した後、産業振興課に配属となりました。

異動当初は、これまでとは全く異なる業務内容に戸惑い、不安を感じることもありましたが。

その中で、昨年度は労政事業の一環として、ハローワークと共催で「子育て世帯就職相談会」を初めて開催しました。来場者が集まるか当日まで不安もありましたが、多くの方に来場いただき、自分が準備したことが形になった瞬間に大きな達成感を感じました。また、初めての開催ということもあり、参加者から様々な意見をいただき、今後、さらに良い事業にしていきたいという気持ちが湧いてきました。

地域の方々の役に立ち、社会に貢献できる実感を得られることが、この仕事のやりがいだと感じています。今後も地域経済の発展や市民の生活向上に貢献できるよう、日々の業務に励んでいきます。

皆さんへのメッセージ

市役所の事務職には、企画や調整を担う部署もあれば、現場に出て市民や事業者と直接関わる部署もあり、業務は多岐にわたりますが、いずれの業務も地域の課題解決や、秦野市の自然や暮らしやすさといった魅力をさらに高めていくことに取り組んでいます。新しいことへの挑戦は不安がつきものですが、上司や先輩職員に相談しやすい職場環境なので、ぜひ職員になった際は失敗を恐れず楽しんで仕事をしてほしいです。秦野市をより魅力あるまちにするため、皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



先輩×Interview (先輩職員からのメッセージ)

「学びの力で、
笑顔溢れるまちに」



【事務職】

文化スポーツ部 生涯学習課

柏木 翼 (令和2年度採用)



どんな仕事をしているの

生涯学習課では、市民一人ひとりが自分らしく、より豊かな人生を歩めるよう、あらゆる機会・場所において、「学びの場」を提供し、その成果が日々の暮らしや地域社会に生かされるよう様々な支援を行っています。
また、地域に根差し世代を超えた交流拠点である公民館の維持・管理や、社会を取り巻く環境の変化を踏まえ、様々な分野での現代的・社会的・公共的課題に対応したテーマを取り上げた「はだの生涯学習講座」、子育て家庭を支援する「家庭教育支援講演会」、小・中学生とその保護者が感謝の気持ちを川柳で表現する「親子川柳大会」など、市民の声や時代のニーズに寄り添った事業を多岐にわたって展開しています。



仕事のやりがいは何ですか

この仕事のやりがいは、「笑顔」と「感謝」です。

生涯学習課の業務は、市民の皆様へ学びの機会を提供する事業やイベントなどを企画・運営することが中心です。事業の準備や調整には多くの労力が必要ですが、地域の方々や庁内の職員と協力しながら進め、無事に終えた時には大きな達成感を感じることができます。また、事業内容は前年の反省を生かしながら改善や工夫ができるため、自由度が高く、自らのアイデアを生かしながら成長することができる、やりがいのある仕事です。

さらに、事業に参加した市民や関係者の皆さんが見せる「笑顔」や、「ありがとう」という言葉をいただいた時には、やりがいと感じるとともに、自分の仕事が誰かの役に立っていることを実感できます。

今後も一人でも多く市民の方が「笑顔」になれるように業務に励んでいきたいと思っています。



皆さんへのメッセージ

新しい環境で働くことに、不安を感じている方もいるかもしれません。私も採用前は「自分にできるのか」と不安に思うこともありましたが、採用されてすぐに手厚い研修があり、研修後も挑戦を支えてくれる温かな職場環境となっています。

市役所の仕事は多岐にわたりますが、その分得られる経験や達成感はかけがえのないものです。

市民の暮らしに直接関わる現場で、一人でも多く市民の方が「笑顔」になれるように一緒に働きませんか。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



先輩×Interview (先輩職員からのメッセージ)

「安心して暮らせるまちづくり」

【土木職】

都市部 都市整備課

百崎 真琴 (令和2年度採用)



どんな仕事をしているの

都市整備課では、土地区画整理事業の円滑な進行を図るため、組合に対する補助金の交付や助言などの技術的支援、土地の区画形質の変更や公共施設の新設などを行う市街地整備を行っています。

その中で私が主に担当している業務は、市街地整備業務です。都市計画道路の築造や宅地造成、上下水道管、景観への配慮や災害に備えた無電柱化などのインフラ整備を目的とした工事の設計・積算、現場監督を行っています。事業の規模が大きく、完成までに長い年月を要しますが、市民の皆様が安心して暮らせる住みよいまちづくりを目指し、日々の業務に取り組んでいます。



仕事のやりがいは何ですか

土木と聞くと現場での作業を思い浮かべるかと思いますが、実際に工事を行うまでに、図面の作成や工事費の算出など事務的な業務も行っています。

その中で私がやりがいを感じる瞬間は、初めは図面に起こしたイメージでしかなかったものが、工事が完了すると目に見えて形となり、多くの方がそれを利用している姿を見た時です。こうして造ったものは半永久的に残り、長い間市民の生活を支えていくものとなります。

また、現場では市民の方の声を直接聞く機会が多くあります。

いただいた意見を汲み取り、設計に反映させることができると、完成後にお礼の言葉をいただけることもあります。このような市民の方からの声も非常に大きな励みとなっています。



皆さんへのメッセージ

土木職は専門的な知識を必要とする場面が多くあり、現場ごとに条件が様々であるため、日々検討を行っています。

時に自分ひとりでは行きづまることもあります。秦野市の土木職員は職員同士のつながりが強く、親身に相談に乗ってくれる同僚や先輩、上司が多いため、とても働きやすい環境だと思います。

秦野市をよりよいまちにするため、皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



先輩×Interview（先輩職員からのメッセージ）

「公共施設を将来にわたり
使い続けるために」

【建築職】

都市部 公共建築課

高橋 洸一郎（令和2年度採用）

✿ どんな仕事をしているの

公共建築課では、建築・設備・保全と担当が分かれており、建築担当と設備担当は、市の所有する建築物の新築工事や改修工事の設計や監理を行っています。私の所属する保全担当は、建築物を次の整備時期まで良好な状態で使い続けるための計画「公共施設保全計画」の推進が主な業務です。

この計画は、長期的な視点で財政の負担やリスクを総合的に判断しながら建築物を保全していくための目安になるものです。もちろん定期的な計画の見直しも必要になってきます。また、計画に必要な情報収集のため、建築物の点検に対する技術支援のほか、直接現地に赴き建築物の劣化状況の調査や点検を行ったりしています。

✿ 仕事のやりがいは何ですか

私は中途採用で入庁しました。前職では主に官公庁施設の設備設計をしていたので、仕事の立ち位置が現場での設計・監理を行う立場から、市の職員として維持保全を計画・推進を行う立場に変わりました。

「幅広く活躍したい」、「色々な知識を身に着けたい」という思いから建築職として入庁しましたが、建築工事は専門的で多岐にわたり、とても複雑で苦慮しました。そんな時に職場の先輩や、同僚が励ましてくれて、「いい設計をしよう!」と奮起したことは今でも鮮明に覚えています。

保全担当は建築や設備などの幅広い知識が必要で、推進している保全計画は長期間にわたる計画となるため、成果が目に見えるのは私が退職した後になる可能性もありますが、現地での建築物の調査や点検は、勉強になることが多く、とてもやり甲斐を感じています。

✿ 皆さんへのメッセージ

日本の人口が減少する中で、「秦野市人口ビジョン」では、令和42年には市の人口は5万5千人減少し、約11万6千人と想定されています。

この人口は昭和56年とほぼ同数となりますが、これに対して、現在の公共施設の建築物の面積は昭和56年の1.8倍まで増加しています。今後、限られた人員や予算の中で、将来に向かって公共サービスを維持していくために公共施設の複合化などによる総量の圧縮等は喫緊の課題であり、公共建築を取り巻く環境は大きく変化しています。

「秦野の未来を守りたい」、「より良くしたい」と熱く強い思いをお持ちのあなたと、ぜひ一緒に働きたいです!

